

第 2 章 高層気象台彙報リスト

発行年	巻	号	題名	著者	地上気象 観測	高層気象 観測	大気オゾン 観測	紫外線 観測	日射・放射 観測	その他
1923	第1巻	第1号	高層気象台一覧	高層気象台	○	○				○
1926		第2号	館野上空に於ける平均風	大石和二郎		○				
1927		第3号	気流観測法	大石和二郎		○				
1928	第4号		館野に於ける雲の高さ	半井亀次郎		○				
			風力計示度に及ぼすべき測風台建物の影響如何	大石和二郎・山内安太	○					
			風力計示度七掛け問題	大石和二郎・山内安太	○					
			風力階級基準調査報告	内田泰	○					
1930	第5号		館野上空に於ける平均風（第二報）	大石和二郎		○				
			水沢の観測より見たる提灯附測風気球の昇騰速度	大石和二郎		○				
			提灯附測風気球の昇騰速度の測定	大石和二郎		○				
			測風気球の最大視距と遠望との関係	大石和二郎		○				
			デョルダン、カムベル両日照計観測値の比較	河村静雄	○					
			館野より見たる筑波山及富士山の遠望	宮本精一	○					
			館野に於ける烟霧の出現と地上風との関係に就て	河村静雄	○					
1931	第6号		係留気球による雲の研究	内田泰		○				
			館野に於て任意時刻より或る時間内に降水ある確率	内田泰	○					
			館野に於ける動植物季節観測	河村静雄	○					
			昭和元年－昭和五年館野地上気象観測成績	高層気象台	○					
			水素の取扱と純度測定法	内田泰		○				
1932	第2巻	第1号	大気下層に於ける温位と渦動係数	内田泰		○				
			接地逆転層に就いて	内田泰		○				
1934		第2号	測風気球の昇騰速度に就きて	大石和二郎		○				
1937	第3号	第3号	気球昇騰力測定器の改良に就きて	大石和二郎		○				
		第4号	気象自記器の自記曲線の補正	内田泰		○				
1939	第5号		気球の大きさと破裂の高さ	内田泰・東郷庫		○				
			館野に於ける平均高層気象	内田泰		○				
1942	第6号		館野に於ける18年間の平均高層気象	内田泰		○				
			本庄に於ける深測気球観測の成績	内田泰		○				
1945	第3巻	第1号	館野に於ける上層風の調査、特に成層圏の風の有様に就いて（第1報）	北岡龍海・松岡保正		○				
			風、係留気球観測に依る高層気象の統計（第1報）	石井弘・飯塚通弘		○				
			館野の視程	宮本精一・菊池直次郎・萩谷靖男・岡田正一	○					
			館野の雷	宮本精一	○					
			館野に於ける係留気球観測に依る気象解析の一例	石井弘		○				
			係留気球観測の高さの精度	棚橋嘉市		○				
			上層気流毎時観測の結果と測風気球夜間観測用経緯儀十字装置及び照明電池に就いて	東郷庫		○				
			下層用エマグラム	石井弘・飯塚通弘・北岡龍海		○				
1947	第2号		無線気球追跡に就いて（二）	拔山大三		○				
			無線気球追跡に就いて（三）	拔山大三		○				
			下層大気に現はれる気温逆転に就いて 第1報 統計的報告	北岡龍海・松岡保正		○				
			移動性高気圧に伴伴せる気温逆転 気温逆転の研究 其の二	北岡龍海		○				
			上層に現はれるフェーン現象 気温逆転の研究 其の三	北岡龍海・飯塚通弘		○				
			三式温湿発振器に及ぼす日射及び放射の影響	北岡龍海・飯塚通弘・宮本岩男		○				
			前橋市に於ける係留気球雷防災予防試験出張報告	北岡龍海・宮本岩男		○				

発行年	巻	号	題名	著者	地上気象 観測	高層気象 観測	大気オゾン 観測	紫外線 観測	日射・放射 観測	その他
1947	第2号	館野の初霜及終霜	宮本精一・岡田正一	○						
		館野に於ける測風気球観測結果より算出せる平均雲向及び平均雲速に就いて	松本三郎		○					
		館野に於ける視程に就いて 第1報 月齢と視程	田村弘子	○						
		昭和19年3月23日館野構内で観測せる旋風	北岡龍海・廣引博・北島茂・秋田貞一	○	○					
		旋風の移動に関する考案 独楽の運動との類似性	北岡龍海	○						
		探測気球による高層気象観測結果の統計	北岡龍海・荻野良衛		○					
1947	第4巻 第1号	上層大気の日変化について 第1報	北岡龍海・小林善博		○					
		高層気象解析の一例	新井重男・北岡龍海		○					
		大気の微細構造研究 第1報	松本茂		○					
		測風気球による乱流観測	接地気象課		○					
		双経緯儀観測による高さの決定について	山崎正博		○					
		細氷現象について（微細氷晶の研究、1）	伊藤彊自	○						
		昭和19年7月22日（土）凧揚中、凧揚用鋼線に落雷鋼線発火焼失す	北岡龍海・岡野延好・福田久男・小室喜一		○					
1948	第2号	自記高層気象計による雷雨観測（第1報）	松岡保正・荻野良衛		○					
		昭和22年7月の高層気象連続観測結果	北岡龍海・新井重男・石浜重久・大越義夫		○					
		圏界面近傍に観測された上層風異状現象について	伊丹武夫・榎本勤・小泉澄		○					
		細氷の結晶形態（微細氷晶の研究、第2報）	伊藤彊自	○						
		1946年東京における－40℃の高度統計	有住直介		○					
		高層観測による雲の調査（第1報）	渡辺弘		○					
		昭和22年夏季早魃の高層気象学的観察	長瀬功		○					
1948	第3号	上層大気の日変化について 第2報	北岡龍海・小林善博		○					
		気球の上昇速度について 第1報	松岡保正・武正秋嘉・荻野良衛		○					
		高空大気の密度と酸素分子の垂直分布	前田嘉一		○					
		細氷の大きさ、数、質量および性質（微細氷晶の研究3）	伊藤彊自	○						
		100W自家発電用風車試験報告	前田嘉一・白井昭雄	○						○
1949	第4号	館野における圏界面について 第1報	長井達夫・松岡保正		○					
		昭和23年5月9日に観測された逆転層と圏界面の変化について	新井重男・北岡龍海		○					
		ゲッツの反転効果について	前田嘉一			○				
		風じんの際の電場の変化 第1報	内川規一							○
		降雨の際の電位傾度の変化	内川規一							○
1950	特別号	創立30年の回顧と現況	高層気象台							○
	特別号 付録	長峰回顧録集	大石和三郎							○
1951	第5巻 第1号	Rawinの固有誤差について	小平信彦・稲葉元志		○					
		気球の上昇速度について（第2報）	松岡保正・小林善博		○					
		風じんの際の電場の変化（第2報）	内川規一							○
		雷雲内の電場測定（第1報）	内川規一・荻野良衛		○					○
		高層観測による上層風の解析	山田一・松橋史郎		○					
		垂直安定度と垂直流の発達について	渡辺次雄							○
		昭和24年9月－昭和25年9月の館野上層風の東西成分について	小林善博		○					
		日本付近における寒気について	篠原武次		○					
		山岳と自由大気気象要素の比較（筑波山頂と館野上空との比較）	野島弘		○					
		天空光分布観測に於ける二次散乱の問題	関原彊						○	○
		光電管による大気オゾン測定に関する予備的研究	川村清			○				

第3部 第2章 高層気象台彙報リスト

発行年	巻 号	題名	著者	地上気象 観測	高層気象 観測	大気オゾン 観測	紫外線 観測	日射・放射 観測	その他
1951	第5巻 第1号	夜間輻射計によるオゾン層の観測	桑名十郎・吉良清			○			
		初代台長大石先生の逝去を悼む	北岡龍海						○
1953	第2号	本庄における上層風の統計について	松岡保正		○				
		Rawinによる測風観測の際の地面反射の影響について	松岡保正・小林善博		○				
		本庄における電位傾度の日変化について	内川規一						○
		館野で観測したRuth台風	野島弘	○	○				
		日食時における天空紫外線分布の研究	関原彊				○		
		吸収層のある大気に於ける一次及び二次散乱光の理論	関原彊					○	
		上層大気の名義について	北岡龍海		○				
1954	第3号	オゾン観測の予備的実験	山崎正博			○			
		大気輻射の観測装置について	桑名十郎					○	
		昭和26-27年冬季における高層風のリレー観測	高層気象台		○				
		昭和27年1月及び2月に本庄-館野で観測したJetStreamについて	野島弘		○				
		中緯度地方における冬季の成層圏東風について	野島弘		○				
		昭和26-27年冬季における高層風のリレー観測の資料	高層気象台		○				
		昭和27-28年冬季における高層風のリレー観測の資料	高層気象台		○				
		昭和27年11月16-22日館野における低層気象観測資料	高層気象台		○				
		昭和28年8月22日-9月4日館野における低層気象観測資料	高層気象台		○				
1954	第4号	日本のラジオゾンデの精度	北岡龍海		○				
		日米ラジオゾンデの比較について（第1報、第2報、第3報）	北岡龍海		○				
		日米ラジオゾンデ観測の温度差に関する統計的調査の結果	北岡龍海		○				
		本邦における上層大気の平均図（冬季）	高層課		○				
		冬季本邦に於ける上層風の平均状態に就いて	山田一・中村繁		○				
		地衡風と実測風の比較	松橋史郎・古川久伍		○				
		CM0-S50型ラジオゾンデの低温低圧検定結果について	鈴木茂・金子松栄・牧野宏・中野宗男		○				
		ラジオゾンデ箱内温度の遅れについて	鈴木茂・鹿野到・中村繁		○				
1957	第6巻 第1号	日本におけるジェットストリームの季節変化	山田一・松橋史郎		○				
		1952年に於ける梅雨末期の上層風解析	中村繁・新井英次		○				
		館野におけるオゾン全量観測について	高層気象台第二観測課			○			
		館野におけるオゾン全量と下部成層圏の気象との関係	岡林俊雄・山崎正博			○			
		自記分光写真器によるオゾンの垂直分布の観測	山崎正博・清水正義・福田寿彦・秋田貞一			○			
		気球着氷試験報告	富士山測候所・北岡竜海・大井正一・五十嵐崇		○				
		大気輻射計用自動雨よけ装置	桑名十郎・福田寿彦					○	
		昭和31年1月9日～3月5日における高層風のリレー観測の資料	高層気象台		○				
1958	第2号	自記分光写真器によるオゾンの垂直分布の観測（2）	清水正義・山崎正博			○			
		ラジオゾンデ着氷試験報告	富士山測候所・北岡竜海・大井正一・五十嵐崇		○				
		館野圏界面高度	大井正一		○				
		気球の上昇速度について	角俊治		○				
		水素ボンベの発火について 序報	中島正一・槐田巖・山田一郎		○				
		昭和32年館野におけるオゾン全量観測の資料	高層気象台			○			
1959	第3号	自記分光写真器によるオゾンの垂直分布の測定（3）	清水正義・山崎正博			○			

発行年	巻	号	題名	著者	地上気象 観測	高層気象 観測	大気オゾン 観測	紫外線 観測	日射・放射 観測	その他
1959	第3号	昭和33年4月19日の日食時に館野で観測したオゾン全量について	山崎正博・坂井泉			○				
		館野における昭和33年4月19日の日食における直達日射量について	池田弘					○		
		ラジオゾンデの振動測定	川瀬二郎・乳井紘一		○					
		下層大気の流れについて(第一報)	高層気象台観測第一課		○					
		オゾンとゴム	山崎正博・池田弘		○					
1960	第4号	水素ボンベと気球の帯電および自然発火について(第2報)	高層気象台		○					
		圏界面付近の短週期振動	北岡竜海		○					
		高層気象要素の時間変化量	角俊治		○					
		オゾン全量と気象要素との相関について	池田弘			○				
		自記分光写真器によるオゾンの垂直分布の測定(4)	山崎正博・秋田貞一			○				
		1950年9月12日日食時の特別高層観測	北岡竜海		○					
1961	第7巻 第1号	反転観測によるオゾンの鉛直分布	村松久史			○				
		気球の上昇速度と鉛直気流	角俊治		○					
		水素ボンベと気球の帯電および自然発火について(第3報)	中島正一・槐田巖・伊達一俊		○					
		水素ボンベと気球の帯電および自然発火について(第4報)	槐田巖・中島正一・伊達一俊		○					
		東海村周辺の水平発散分布と拡散粒子の分布との関係について	伊達一俊	○	○					
		大気放射量の実験公式	斎藤隆幸						○	
		地球上における気温分布と熱量分布について	和田英夫	○	○					
		冬季日本付近の下部成層圏のじょう乱とオゾン全量	岡本雅典		○	○				
		鹿児島における放射熱量の収支の状態	植村八郎						○	
		500mb面における強風帯の変動と低気圧の発達について(第1報)	長井達夫		○					
		東北地方における下層気温の代表性について	山下洋		○					
1962	第2号	露点ゾンデおよび気象電気ゾンデ観測から見た中緯度ジェット気流付近の質量循環	北岡竜海		○					
		露点ゾンデ観測による成層圏の水蒸気分布について(第1報)	林英之介		○					
		台風周辺における気球の上昇速度の分布	角俊治		○					
		日本付近のオゾン全量の変動について	村松久史			○				
		自記分光写真器によるオゾン鉛直分布の観測	秋田貞一・桑名十郎			○				
		Gotzの反転効果によるオゾン鉛直分布計算図表(方法A)	池田弘			○				
1963	第3号	オゾン分光光度計の更正のための“2ランプ装置”について	桑名十郎			○				
		オゾンの鉛直分布	村松久史			○				
		直射日光と他の方法で測ったオゾン全量の比較	横山允			○				
		Eppley型日射計の特性について	池田弘						○	
		散乱光の測定	槐田巖・福田寿彦						○	
		本邦における成層圏偏東風底面の季節変化	山田一・中村繁・五月女敬太郎		○					
		館野における亜成層圏特別観測の報告	河村斌・角俊治・松橋史郎		○					
		エコー方式とゾンデ方式による算出高度の差について(第1報)	乳井紘一		○					
		放射能ゾンデ観測資料	高層気象台観測第二課		○					
1964	第4号	気象電気用ラジオゾンデの改良	内川規一		○					
		北半球のオゾン量と下部成層圏気温の関係について	関口理郎		○	○				
		ドブソン型オゾン分光光度計の蒸着ウェッジの多重反射について	桑名十郎・小畑実			○				

第3部 第2章 高層気象台彙報リスト

発行年	巻	号	題名	著者	地上気象 観測	高層気象 観測	大気オゾン 観測	紫外線 観測	日射・放射 観測	その他
1964	第4号	館野における地面付近のオゾン量の測定について	横山 允			○				
		オゾン全量観測に対する煙霧とちりの影響	村松久史			○				
		大気オゾンと月の関係	村松久史			○				
		ベックマン型放射計の零点の変化と地表面放射の測定について	穂田 巖						○	
		極東を中心として見た北極成層圏突然昇温について	山田一・中村繁・松橋 史郎・清水正義		○					
		日本付近における成層圏の風と気温の2年周期について	松橋 史郎		○					
		コーナレフレクタ付気球による成層圏風速測定方式	近藤昭治		○					
		館野における連続特別観測の報告	高層気象台観測第二課		○					
		1963年4月中旬に館野に現われた成層圏強風について	松橋 史郎・東郷健夫		○					
		館野における高層風について	飯島邦彦・永原雄二		○					
1965	第8巻 第1号	化学発光物質を用いたオゾンゾンデの試作（第1報）	村松久史			○				
		ドブソン型オゾン分光器用光学くさびの真空蒸着（第1報）	池田 弘			○				
		オゾン分光光度計の同期整流の改造試験について	小畑 実			○				
		館野における亜成層圏特別観測の報告（2）	松橋 史郎		○					
		気球切離し装置の実験について	高層気象台観測第二課		○					
1966	第2号	化学発光物質を用いたオゾンゾンデの試作（第2報）	村松久史			○				
		オゾン分光光度計の同期整流の改造試験について（第2報）	小畑 実・池田 弘			○				
		オゾン分光光度計の検定光源としてのヨウ素ランプの特性	池田 弘・菊池直次郎			○				
		日射量の積算計数記録装置について	池田 弘・秋田 貞一						○	
		JMA風防型放射計の観測結果について（第1報）－アルベド－	穂田 巖						○	
		大気年平均場について	中田 良雄		○					
		日本のゾンデ観測による下部成層圏気温の日変化について	松橋 史郎		○					
		館野における係留気球観測について（第1報）	石橋利通・沼田勇美		○					
1967	第3号	Eppler型日射計の特性について（第2報）	池田 弘						○	
		JMA風防型放射計の特性について	穂田 巖						○	
		オゾン全量の季節変動（第1報）－梅雨季のオゾン全量の変動および月令との関係－	村松久史			○				
		ゾンデ落下点の推定法	三浦 四郎		○					
		放球塔（その1）－エアカーテン式放球塔（序報）－	中村 則行		○					
		館野上層の風と気温の日変化について	松橋 史郎		○					
1968	第4号	放射場に及ぼす建築物の影響（第1報）	藤本文彦						○	
		大気オゾン全量の日変化	大越 延夫			○				
		オゾン鉛直分布の年変化	菊池直次郎			○				
		高層風による太陽像のゆらめきについて	大越 延夫		○					
		オゾン分光光度計点検用標準ランプ光源としてのヨウ素ランプについて	菊池直次郎			○				
		筑波－館野2点観測報告	乳井 鉦一・松橋 史郎		○					
		エコーゾンデの観測値について（第1報）－エコー方式とゾンデ方式による算出高度の比較－	吉田 宗徳		○					
1972	第9巻 第1号	館野の放射観測とその研究（第1報）－日射（短波）に関する現象論的研究－	藤本文彦						○	
		180° 自動走査直達大気放射計について	池田 弘・福田寿彦・田 村 竹男						○	
		オゾン分光光度計の自動化について	池田 弘・小畑 実			○				
		オゾン分光光度計用2ランプ点検装置について	池田 弘・菊池直次郎・ 小畑 実・福田寿彦・松 本 勝雄			○				
		通風式日射計について－おもに着霜防止のための－	池田 弘・穂田 巖						○	

発行年	巻 号	題名	著者	地上気象 観測	高層気象 観測	大気オゾン 観測	紫外線 観測	日射・放射 観測	その他
1977	第10巻 第1号	低層のオゾンについて	関原 彦・鈴木 弥幸・槐 田 巖・鈴木 剛彦・柳 橋 度			○			
		館野の接地逆転	鈴木 弥幸		○				
		晴れ指数と全天、散乱、地面反射日射との関係	池田 弘・一木 明紀					○	
		散乱光の測定と全天日射計の散乱光に対する感度について	一木 明紀・鈴木 宣直					○	
		通風型放射計測定係数の昼夜の差について	槐 田 巖					○	
1977	第10巻 第1号	オゾン分光光度計用自動記録装置	池田 弘・小畑 実・片山 進			○			
		オゾン分光光度計電気系統の改良	池田 弘			○			
		気温、湿度、風に関する通常のゾンデと係留気球の観測値比較	鈴木 弥幸・柳 橋 度・忠 鉢 繁		○				
		最近の600g気球および200g気球の上昇特性	忠 鉢 繁		○				
1978	第39号	低層のオゾンについて（Ⅱ）	鈴木 弥幸・槐 田 巖・鈴木 剛 彦			○			
		館野の接地逆転（Ⅱ）	鈴木 弥幸・槐 田 巖・鈴木 剛 彦		○				
		水つぼを備えた通風式湿球温度計について	槐 田 巖	○					
		600g気球の上昇特性（第2報）	高層気象台観測第二課		○				
		成層圏気温の長期変動について	関原 彦・池田 弘・菊池 直次郎・田村 竹男		○				
		現用放射ゾンデの改良について	高層気象台		○				
		風防型放射計による全波長放射の昼夜連続測定についての諸問題	一木 明紀					○	
		風防型放射計の鳥害防止について	池田 弘・一木 明紀					○	
		オゾン分光光度計波長点検用恒温槽について	池田 弘・大越 延夫・酒 井 重典・忠 鉢 繁			○			
		Fuego火山爆発の噴出雲によるオゾン分光観測ダスト項の急激な変化	大越 延夫			○			
		世界のオゾン全量分布について	菊池 直次郎			○			
1979	第40号	地上における平均オゾン量	鈴木 剛彦			○			
		現用レーウィンゾンデ及びレーウィンの落下について	竹内 旦・田村 竹男・安 倍 貞八・福森 正光・忠 鉢 繁		○				
		日中における下向き長波長放射量と雲量の関係	一木 明紀・酒井 重典・忠 鉢 繁・大野 勇太					○	
		放射計の改良 ～γ線照射によるポリエチレンドーム硬化の試み～	一木 明紀					○	
		オゾン全量の日々の変化	酒井 重典			○			
1980	第41号	日中の気温と風の鉛直分布だけでできる混合層調査の検討	鈴木 弥幸		○				
		Ascent Characteristics of 100g Balloons	竹内 旦・片山 進・田村 竹男・忠 鉢 繁		○				
		高層気象資料よりみた1963年1月の異常気象	田村 竹男		○				
		紫外線観測及び紫外線計の検査装置について	一木 明紀・小畑 実				○		
		日本付近におけるオゾン全量の分布と、その季節変化	酒井 重典・大越 延夫・三 宅 勉			○			
		オゾン全量の長期変化傾向とオゾン資料の信頼性	大越 延夫			○			
		コンピューターを利用したドブソン分光光度計対n表の作成について	忠 鉢 繁			○			
1982	第42号	館野における日照率、相対湿度、気温日較差の近年の変化について	西山 宏・岩井 秀夫・阿 部 克也・渡辺 匡夫	○					
		世界の気温の長期変動について	山内 孝夫・北村 正亟						○
		地表で測定される紫外線量と雲量の関係	一木 明紀・三宅 勉・小 畑 実				○		
		紫外線計の改良—通風装置の設置—	小畑 実・一木 明紀・志 村 英洋・広瀬 保雄				○		
		天頂光観測オゾン全量の見かけ上の増加	大越 延夫・鈴木 剛彦			○			

第3部 第2章 高層気象台彙報リスト

発行年	巻 号	題名	著者	地上気象 観測	高層気象 観測	大気オゾン 観測	紫外線 観測	日射・放射 観測	その他
1983	第43号	RS2-80型空盒気圧計開発の報告	岩井秀夫		○				
		ゾンデと係留気球の観測値の比較	西山宏・岩井秀夫・阿部克也・上部ウィリー		○				
		RS2-80型レーウィンゾンデの2, 3の試験報告	榎本盛泰		○				
		RC-701B型放射能ゾンデの軽量化について	安倍貞八		○				
		日本におけるオゾン量の鉛直分布について	手塚慶二			○			
		オゾン分光光度計の同期整流器の改造について	高層気象台観測第三課・気象測器工場			○			
		高層気象台職員の論文・報告目録	高層気象台						○
		後記にかえて	清水正義						○
1984	第44号	館野上層における極大風速面について	高層気象台観測第二課		○				
		館野におけるRawinsonde・Rawin放球時の地上風について	榎本盛泰・鈴木健・佐野操・片山進・田村竹男・阪本孝広	○	○				
		館野におけるオゾン量の鉛直分布について	手塚慶二			○			
		オゾンデータ整理のためのパーソナルコンピュータの導入	松原廣司			○			
		「カナダからの手紙」ーオゾン分光光度計の内部散乱光についてー	観測第三課			○			
		高層気象台（館野）における日射観測の結果についてー1982ーエル・チチョン火山の噴火に関連してー	小畑実					○	
		後記にかえてー新しい革袋に新しい酒をー	清水正義						○
1985	第45号	1983年5月ー84年4月の筑波の天候と気温の異常について	阿部克也・上部ウィリー	○					
		館野における最低気温と放射収支について	西山宏					○	
		20年統計値から見た日本の高層大気の特徴（その1）	高層気象台観測第二課		○				
		パソコンによるd55b測角値の平滑処理	阪本孝廣		○				
		下向放射の屋上と露場とでの同時比較測定の結果について	小畑実・上野丈夫					○	
		オゾン反転観測におけるパーソナルコンピュータの利用	松原廣司・梶原良一			○			
1986	第46号	地上気象観測累年統計（1951～1980年）	高層気象台観測第一課	○					
		ラジゾンデ用サーミスタの自己加熱に関する若干の実験ーRS2ー80型サーミスタの自己加熱誤差についてー	中村匡善・奥住巖・増田一彦		○				
		200g気球とW75型レーウィンの上昇特性	阪本孝廣・小野寺慎一		○				
		RS IIー56型とRS2ー80型ゾンデとの気温、高度の比較について	岡林俊雄		○				
		2ランプ検定データからドブソン分光光度計のRーN表を作成する方法について	廣瀬保雄			○			
		パーソナルコンピュータを使用した日射・放射データ集録装置	上野丈夫					○	
		Sumi Spanの弾性に与える二次熱処理温度の影響	岡田芳隆		○				
		昭和60年と30年前の回顧	岡林俊雄						○
1987	第47号	館野における地上付近のオゾン濃度の観測	高層気象台観測第一課			○			
		パソコンによるゾンデ信号処理	阪本孝廣		○				
		5年平均値から見たRS2-80型レーウィンゾンデとRS IIー56型レーウィンゾンデの比較	稲嶺盛善・中村匡善		○				
		振動式デジタル気圧計の比較試験について	岩崎明	○					
		レーウィン用軽量巻下器について	柳橋度・中村匡善		○				
		日本における大気オゾン量の長期変動及び季節変化（第1報）	鈴木宣直・梶原良一・廣瀬保雄			○			
		ドブソンオゾン分光光度計の光学くさび検定誤差及びオゾン量の日変化に伴う測定誤差について	梶原良一			○			
		館野における紫外線量の観測について	上野丈夫				○		
1988	第48号	1地点の境界層観測を使った関東地方の弱風時における風と気温の解析事例	鈴木宣直・小倉英二・阿部寛・伊藤真人	○	○				
		館野における明け方の最低気温出現時刻と放射収支量の変化	鈴木宣直・小倉英二・阿部寛・伊藤真人	○				○	

発行年	巻 号	題名	著者	地上気象 観測	高層気象 観測	大気オゾン 観測	紫外線 観測	日射・放射 観測	その他
1988	第48号	高層観測用巻下器について	新井芳水・大胡田輝信		○				
		館野における圏界面の季節変化	中村忠・赤木万哲		○				
		高層風観測における高度角の測角乱れについての一考察	金子敏正・宮本仁美・山内孝夫		○				
		RS2-80型ゾンデの湿度計の問題点について	岡林俊雄		○				
		館野の日射、放射観測資料について	志村英洋・上野丈夫					○	
		直達、天空散乱日射量から求めた全日射量について	上野丈夫・志村英洋					○	
		館野におけるオゾン全量の日変化	梶原良一・新井芳子・成田修			○			
1989	第49号	係留気球高度の精度についての一実験	辻雅彦・小倉英二・阿部寛・伊藤真人		○				
		紫外線吸収方式による低層のオゾン観測	伊藤真人・辻雅彦・小倉英二・阿部寛			○			
		地面反射における角度データの解析	小野寺慎一		○				
		館野における高層観測資料のスペクトル解析	近藤幸治・荻原裕之		○				
		館野における紫外線量の変化について（1985・5 - 1988・12）	上野丈夫				○		
		全日射計感度定数の点検について	上野丈夫・恩房寿男・志村英洋					○	
		ブリュワー分光光度計によるオゾン観測	高層気象台観測第三課			○			
		オゾン過去資料の見直しについて	梶原良一・小林正人・小城良友・成田修・廣田道夫			○			
1990	第50号	50号を記念して	相原正彦						○
		地上オゾン濃度の日々の変化について	成田修・外崎均・小倉英二・遠藤邦明			○			
		20年統計値から見た日本の高層大気の特徴（その2）	田中裕吉・宮川幸治・八木晃		○				
		気球の浮力錘浮力による上昇速度と到達高度について	新井芳水・阿部寛・鈴木恒雄・上部ウィリー・川上勝弘		○				
		高層気象観測における測風測角を乱す反射波の調査について	新井芳水・大胡田輝信・小城良友・大野恭治・荻原裕之・木津暢彦		○				
		レーウィンゾンデの落下地点推定	中村忠・茂林良道・菊池勝敏		○				
		B領域紫外日射測定器の検定について	上野丈夫・伊藤真人				○		
		ドブソンオゾン分光光度計の完全自動化試作改造について	小城良友・小林正人・上窪哲郎・梶原良一			○			
		オゾン観測業務プログラムの解説	高層気象台観測第三課			○			
		天頂光観測によるオゾン全量計算式	上窪哲郎・梶原良一			○			
		反転観測によるオゾン鉛直分布導出プログラムについて	下道正則			○			
1991	第51号	「つくば」の地上オゾン濃度について	小城良友・遠藤邦明			○			
		反転観測によるオゾン鉛直分布とオゾンゾンデ観測によるオゾン鉛直分布の比較（第一報）	小林 正人			○			
		天頂光観測によるオゾン全量計算式の改訂	上窪 哲郎・梶原 良一			○			
		日本の高層大気における気温の経年変化および相互関係について	宮川 幸治		○				
		太陽黒点相対数と圏界面	鈴木 恒雄		○				
		係留気球による東風時の下層大気の状態について	外崎 均		○				
		つくば（館野）の日最低気温について（70年間の資料の統計的解析）	蔵重 清	○					
1992	第52号	下層大気の状態について	菊池 勝敏・岩崎 明・小倉 英二・遠藤 邦明		○				
		ルーチン用パラシュートの開傘率と落下速度について	上部 ウィリー		○				
		オゾンゾンデの落下について	木津 暢彦			○			
		飛揚前オゾンゾンデチェックとドブソン比について（I）	林 則雄・中村 忠			○			

第3部 第2章 高層気象台彙報リスト

発行年	巻 号	題名	著者	地上気象 観測	高層気象 観測	大気オゾン 観測	紫外線 観測	日射・放射 観測	その他
1992	第52号	つくばの日射観測資料からみた1991年におけるピナツボ火山の噴火の影響について	上野 丈夫					○	
		ブリュワ分光光度計の温度特性について	梶原 良一・伊藤 真人・上窪 哲郎・小林 正人				○		
		ブリュワプログラムについて	上窪 哲郎・下道 正則・上野 丈夫・梶原 良一・伊藤 真人・小林 正人				○		
1993	第53号	つくばの下層オゾン濃度について	遠藤 邦明・菊池 勝敏・岩崎 明・小倉 英二			○			
		放射能ゾンデ観測	大野 恭治・木津 暢彦・川上 勝弘		○				
		2台の方向探知機による高層風の比較観測からみたラジオセオドライト方式の精度	佐藤 尚志・尾関 一頼・伊藤 肇		○				
		全天日射量と照度の関係について	志村 英洋					○	
		反転観測による新オゾン鉛直分布導出プログラムについて	下道 正則			○			
		波長別紫外域日射観測の参照スペクトルの改訂	小林 正人・下道 正則				○		
		赤外放射計と全波放射計の比較について	上野 丈夫					○	
1994	第54号	係留気球観測システムについて	岩崎 明・遠藤 邦明・小倉 英二・菊池 勝敏		○				
		ゾンデ気圧点検2台用切り換え器の試作について	坂尻 政市・佐藤 尚志		○				
		つくばにおけるWMOラジオゾンデ比較観測（フェーズIV）	林 則雄・阿部 豊雄		○				
		精密全天日射観測装置（INTRAⅡ）について－全天日射及び散乱日射観測の精度向上－	志村 英洋・上野 丈夫・寺坂 義幸					○	
		オゾン全量の周期解析について	宮川 幸治・梶原 良一			○			
		波長別紫外域日射観測の基準化について	伊藤 真人・下道 正則・梶原 良一				○		
1995	第55号	高層気象台におけるゾンデ観測50年	安倍 貞八・阿部 豊雄		○				
		波長別紫外域日射計のボールダー国際相互比較	下道 正則・伊藤 真人				○		
		つくば域で発生したダウンバーストについて	河原 恭一						○
		昭和基地で観測された紫外域日射－雪面反射による増幅とオゾンホールの影響－	高尾 俊則・下道 正則・伊藤 真人・宮川 幸治				○		
		遮蔽バンド及び遮蔽ディスクを用いて測定された散乱日射量の比較	志村 英洋・上野 丈夫・寺坂 義幸					○	
		サンフォトメーターによるつくば上空のエロゾルの光学的厚さと粒径の季節変化	寺坂 義幸・志村 英洋・上野 丈夫					○	
		ラジオゾンデの着地時の安全性向上を目的としたパラシュート形状の検討について	大胡田 輝信・瀬堀 パトリック・成田 修・小山田 好範・伊藤 肇・尾関 一頼		○				
		小型・軽量の放射能ゾンデ（RC-94型）の開発とそのデータ処理	大野 恭治・東島 圭志郎・川上 勝弘		○				
		ラジオゾンデ用全自動式気圧点検システムの開発及びその試験運用	坂尻 政市・須田 智・細川 孝彦・川上 勝弘		○				
1996	第56号	高層気象台におけるオゾン観測の40年	高尾 俊則			○			
		スイス・アローザで行われたWMOドブソンオゾン分光光度計の国際相互比較	宮川 幸治			○			
		ブリュワ分光光度計を用いて再開した南鳥島におけるオゾン層観測	高尾 俊則・杉田 興正			○			
		オゾン全量データのCREX通報について	宮川 幸治・高尾 俊則			○			
		地上オゾンの濃度と気象との関連	河原 恭一・佐川 振一・小倉 英二・杉村 秀夫			○			
		成層圏におけるKC79型オゾンゾンデの測定不良とその原因について	須田 智・阿部 豊雄・坂尻 政市			○			
		気象衛星の追跡による方向探知機の測角値の点検について	坂尻 政市・須田 智		○				
		W92型レーウィンの6つのOFF接点を観測に利用することの有効性について	高橋 武・坂尻 政市・尾関 一頼		○				

発行年	巻 号	題名	著者	地上気象 観測	高層気象 観測	大気オゾン 観測	紫外線 観測	日射・放射 観測	その他
1996	第56号	紫外域日射観測網の照度基準	伊藤 真人・下道 正 則・梶原 良一・上野 丈夫・寺坂 義幸				○		
1997	第57号	ウィンドプロファイラデータを用いた気象現象の解析	河原 恭一・森 真理子	○	○				○
		アジア・太平洋地域オゾン国際比較実施に関する報告	志村 英洋・上野 丈 夫・廣瀬 保雄・田森 俊彦・宮川 幸治・伊 藤 真人・能登 美之・ 高尾 俊則・寺坂 義幸			○			
		基礎地上放射観測網（BSRN）の現状－ボールダー会議 の報告－	廣瀬 保雄・高尾 俊 則・本田 耕平・田森 俊彦					○	
		BSRNデータの報告開始	田森 俊彦・上野 丈 夫・志村 英洋					○	
		昭和基地で使用する自動制御サンディレクタ	宮川 幸治・能登 美之			○			
		高層気象観測とその歴史	阿部 豊雄		○				
1998	第58号	カナダ大気環境庁（AES）における波長別紫外域日射 計の検定試験と測器相互比較	伊藤 真人・下道 正 則・能登 美之				○		
		BSRNのための放射観測データ取得・処理システムの開 発	廣瀬 保雄・宮川 幸 治・田森 俊彦・能登 美之					○	
		つくばで観測された日射・放射の変動	岡本 利次・田森 俊 彦・上野 丈夫					○	
		南鳥島におけるオゾン観測資料の補正方法について	能登 美之・伊藤 真人			○			
		ピナトゥッポ火山噴火がオゾン反転観測へ与えた影響	宮川 幸治・永井 智広			○			
		「日射・放射資料集」の訂正	高層気象台観測第三課					○	
		高層気象台構内で見られる動植物の変遷について	森 真理子・服部 敦 子・柳橋 度・河原 恭 一・大胡田 輝信・小 倉 英二						○
1999	第59号	パイプセパレータ方式パラシュートの開発	成田 修・大胡田 輝 信・瀬堀 パットリッ ク・鳥井 克彦・峯野 秀美		○				
		ゾンデ落下位置監視プログラムの開発	中野 辰美・坂尻 政 市・肆矢 朗久・長井 勝栄・阿部 豊雄		○				
		塩水による注水電池の立ち上げについて	坂尻 政市・中野 辰美		○				
		ボールダーにおけるWMOドブソンオゾン測器相互比較 1998	宮川 幸治			○			
		自動化に対応した新2ランプ点検装置	宮川 幸治・能登 美之			○			
		「つくば」における最近10年間の地上オゾン濃度の変 動	森 真理子			○			
		オゾン観測監視のためのブリューワー分光光度計用外 部標準ランプ点検装置	伊藤 真人・能登 美之			○			
		波長別紫外域日射観測用プログラムの改訂（Ⅰ）	能登 美之・伊藤 真人				○		
		基準地上放射観測網（BSRN）第5回ワークショップ報 告書の要約	廣瀬 保雄					○	
2000	第60号	ラジオゾンデ用収納方式パラシュートの開発	峯野 秀美・中村 誠・ 澁江 昇・鎌田 浩嗣・ 川江 訓		○				
		RS2-91型レーウィンゾンデの新旧湿度センサ比較（速 報）	澁江 昇・阿部 豊雄・ 木津 暢彦		○				
		全天型紫外域日射計の感度変化と測定精度	柴田 誠司・伊藤 真 人・能登 美之・上野 丈夫・岡本 利次				○		
		円錐空洞黒体を用いたPIR長波長放射計の校正 第一 報：理論的考察	廣瀬 保雄・柴田 誠司					○	
		遮蔽装置つき赤外放射計について	上野 丈夫・柴田 誠 司・廣瀬 保雄・岡本 利次					○	
		オゾン反転観測の比較事例解析（那覇）	宮川 幸治・屋比久 猛 弥・伊藤 真人			○			
		ブリューワー分光光度計の感度監視体制と感度変化	伊藤 真人・能登 美 之・宮川 幸治・上野 丈夫				○		
		波長別紫外域日射観測用プログラムの改訂（Ⅱ）	能登 美之・伊藤 真人				○		

第3部 第2章 高層気象台彙報リスト

発行年	巻 号	題名	著者	地上気象 観測	高層気象 観測	大気オゾン 観測	紫外線 観測	日射・放射 観測	その他
2000	第60号	サンフォトメータ測器定数監視方法の改良（Ⅰ）	柴田 誠司・廣瀬 保雄					○	
2001	第61号	新型長波長放射計（CG4）について	柴田 誠司・廣瀬 保雄					○	
		二重分光光度計ブリューワーMKⅢによる紫外域日射観測	伊藤 真人・宮川 幸治				○		
		ドブソン分光光度計の新水銀ランプ点検装置	宮川 幸治・能登 美之・伊藤 真人			○			
		サンフォトメータ測器定数監視方法の改良（Ⅱ）	柴田 誠司・廣瀬 保雄					○	
		ブリューワー分光光度計用光軸調整装置	伊藤 真人・ken lamb・能登 美之				○		
		円錐空洞黒体を用いたPIR長波長放射計の校正 第二報：理論的考察その2	廣瀬 保雄・柴田 誠司					○	
		日本上空23km付近での冬から春のオゾン減少（1998/99）	宮川 幸治・廣田 道夫			○			
		高層気象観測用気球に関する諸特性の調査－到達高度・上昇速度・ガス漏洩量－	澁江 昇・鎌田 浩嗣・阿部 豊雄		○				
		吊り紐の長さに関する調査・試験（レーウィン観測）	肆矢 朗久・中野 辰美・鎌田 吉博		○				
2002	第62号	マウナロアにおけるWM0ドブソンオゾン分光光度計の国際相互比較	宮川 幸治・廣瀬 保雄・伊藤 真人			○			
		ゾンデの飛翔予測シミュレーションプログラムの開発－ゾンデの飛翔予測情報システムの実現にむけて－	中野 辰美・藤田 建		○				
		気球後流が観測に及ぼす影響に関する調査（第一報）	鎌田 吉博・藤田 建・日野原 正己・澁江 昇・川江 訓		○				
		ドブソンオゾン分光光度計の新自動制御方式	宮川 幸治			○			
		新型ブリューワー分光光度計MKⅢの測器調整・校正結果－測器整備と各官署への設置－	伊藤 真人・佐藤 健・下木原 卓也・平良 修・宮川 幸治				○		
		新型NISTランプ検定装置の開発と紫外域日射観測装置（ブリューワー分光光度計）の高度角・方位角特性	伊藤 真人				○		
		円錐空洞黒体を用いたPIR長波長放射計の校正 第三報：校正と屋外比較の結果	廣瀬 保雄・柴田 誠司					○	
2003	第63号	カナダMSCにおける波長別紫外域日射観測装置の国際測器相互比較2002年	伊藤 真人・宮川 幸治				○		
		ゾンデの飛翔予測情報システムの開発	藤田 建		○				
		放射収支計CNR1の特性について（第一報）	長沼 弘・廣瀬 保雄					○	
		回折格子型サンフォトメータPGS-100について（第一報）	居島 修					○	
		ブリューワー分光光度計用分光常数校正装置の開発と手法	伊藤 真人・Vladimir SAVASTIOUK・Michael BROHART			○	○		
		全天型（広帯域）紫外域日射計の高度角・方位角特性	伊藤 真人				○		
		オゾン反転観測とオゾンゾンデ観測によるオゾン鉛直分布の相互比較解析	宮川 幸治			○			
		ショート反転観測によるオゾン鉛直分布の解析	宮川 幸治・廣瀬 保雄			○			
2004	第64号	着氷が原因のレーウィンゾンデ強制降下事例	菊池 康友		○				
		放射能ゾンデ観測値の経年変化考察のための試み	井上 聖吾・岩坪 昇平・佐藤 昌志・藤田 建・武井 保幸		○				
		ブリューワー分光光度計を利用した地面反射波長別紫外域日射観測装置の開発と観測	伊藤 真人				○		
		ブリューワー分光光度計MKⅢの直射光監視観測－直射光オゾン・二酸化硫黄全量観測用常数の校正と観測結果－	伊藤 真人・宮川 幸治			○			
		回折格子を利用した新型紫外域分光光度計の試験結果	伊藤 真人				○		
		紫外域日射観測装置の入射角特性に関する観測値への補正の試み	齋藤 篤思				○		
		回折格子型サンフォトメータPGS-100について（第二報）	居島 修					○	
		放射収支計CNR1の特性について（第二報）	長井 勝榮・長沼 弘					○	
		散乱日射観測における低ゼロオフセット全天日射計の導入	長沼 弘・長井 勝榮					○	

発行年	巻 号	題名	著者	地上気象 観測	高層気象 観測	大気オゾン 観測	紫外線 観測	日射・放射 観測	その他
2005	第65号	(口絵)高層気象台の歴史的な高層風図	阿部 豊雄		○				
		日本上空の気温の経年変化－札幌、館野、鹿児島、那覇、南鳥島の5地点について－	中島 浩一		○				
		回収された落下ゾンデに関する調査	熊本 真理子・佐藤 昌志・日野原 正巳・金子 哲治		○				
		ゾンデの飛行予測情報システムの利用について	岩坪 昇平		○				
		ブリュワー分光光度計を利用した散乱波長別紫外域日射の精密観測	伊藤 真人				○		
		ブリュワー分光光度計による地面反射波長別紫外域日射の精密定常観測結果2004年	伊藤 真人				○		
		広帯域(全天型)紫外域日射計のNISTランプ検定による測器感度変化と問題点	伊藤 真人				○		
		放射収支計CNR1の特性について(第三報)－結露防止用ヒーターの影響調査と日射遮蔽装置の試作－	長井 勝栄・長沼 弘					○	
		長波長放射計CG4の特性調査(第一報)	長沼 弘・長井 勝栄					○	
		サンフォトメータにおける雲判別アルゴリズムの開発	居島 修					○	
		ボールダーでのWMOドブソンオゾン分光光度計の国際相互比較	宮川 幸治			○			
		WMO/GAWのフィリピン・マニラにおけるオゾン観測の現状	宮川 幸治・Hannagrace F. Cristi			○			
		韓国・延世大学でのドブソンオゾン分光光度計の較正	宮川 幸治・Jhoon Kim・Hi Ku Cho			○			
2006	第66号	(口絵)2005年12月、日本各地は記録的な豪雪・低温に見舞われた。	熊本 真理子・阿部 豊雄・佐藤 昌志		○				
		館野の高層気象観測資料でみた2005年12月の寒気変動(速報)	熊本 真理子・阿部 豊雄・佐藤 昌志		○				
		つくばの地上オゾンデータの補正と経年変化	上野 丈夫・馬場 広年			○			
		放射能ゾンデ観測値の経年変化とその変動要因	井上 聖吾・塩水流 洋樹・溝端 秀之・奥山 順 健・岩淵 真海		○				
		反転観測におけるN値の再評価	宮川 幸治			○			
		再評価後の反転観測とオゾンゾンデ観測によるオゾン鉛直分布の比較解析	宮川 幸治			○			
		地上到達紫外域日射に及ぼす雲の影響	高野 松美				○		
		ブリュワー分光光度計用自動遮蔽装置による散乱波長別紫外域日射の定常観測	伊藤 真人				○		
		広帯域(全天型)紫外域日射計用外部標準ランプ点検装置の開発とその精度	伊藤 真人・高野 松美				○		
		汎用型紫外域日射計 Skye SKU 430 の試験結果	伊藤 真人				○		
		回折格子型サンフォトメータ PGS-100 の改良およびその効果	居島 修					○	
		放射収支計 CNR1 の特性について(第四報)－日射遮蔽通風装置の試作－	長井 勝栄・長沼 弘					○	
2007	第67号	(口絵)アジア地区ドブソン分光光度計国際相互比較キャンペーン期間中のオゾン全量の急増現象	宮川 幸治			○			
		アジア地区ドブソン分光光度計の国際相互比較 2006	宮川 幸治・赤木 万哲			○			
		高層気象観測資料からみた平成18年豪雪の特徴	伊藤 智志・熊本 真理子		○				
		ブリュワー分光光度計による地面反射・散乱波長別紫外域日射の年変化	伊藤 真人				○		
		陸別のブリュワー分光光度計常数校正と紫外域日射量・オゾン全量	伊藤 真人・小野 雅司・能登 美之			○	○		
		カナダMSCにおけるブリュワー分光光度計の国際測器相互比較2006年と新型検定装置の精度	伊藤 真人・Tom GRAJNAR・Michael BROHART・Vladimir SAVASTIOUK・Ken LAMB				○		
		下向き長波長放射観測への障害物の影響について	廣瀬 保雄・本田 耕平					○	
		サンフォトメータ観測における雲判別アルゴリズムの検証および評価	居島 修					○	
		雲監視装置による全雲量算出方法とその結果	高野 松美					○	

第3部 第2章 高層気象台彙報リスト

発行年	巻 号	題名	著者	地上気象 観測	高層気象 観測	大気オゾン 観測	紫外線 観測	日射・放射 観測	その他
2007	第67号	RS2-KC96型オゾンゾンデの対流圏下部におけるオゾン測定の改善	鎌田 浩嗣・茂林 良道・岩野 園城・佐々木 利・伊藤 智志・岩渕 真海・野村 幸弘・岩坪 昇平			○			
		ドブソン分光光度計の自動化ウィンドウズシステムの高度化ーコンパクトPCI制御方式への移行ー	宮川 幸治			○			
		係留気球観測装置地上システムの改良	馬場 広年・工藤 美華子		○				
		生分解性素材を用いたパラシュート一体型巻下器の開発	金子 哲治・中島 浩一・日野原 正巳		○				
		高層気象台における放射能ゾンデ観測48年の記録	高層気象台観測第二課		○				
2008	第68号	つくばにおけるオゾン濃度計更新時の新旧比較観測について	工藤 美華子・馬場 広年			○			
		KC型オゾンゾンデとECC型オゾンゾンデの相互比較観測について	中村 雅道・岩野 園城・松元 誠・辰己 弘・伊藤 智志			○			
		ラジオゾンデの歴史的変遷を考慮した気温トレンド(第1報)	上里 至・伊藤 智志・熊本 真理子・茂林 良道・中村 雅道		○				
		オゾンゾンデの飛翔予測シミュレーションプログラムのパラメータの再設定	伊藤智志・奥山順健			○			
		長波長放射観測の世界基準への移行	大河原 望・高野 松美					○	
		エアバッグ方式流量計を用いたオゾンゾンデ用ポンプ効率測定装置の開発	中野 辰美・岩野 園城			○			
		天頂雲検出器の反転観測への導入	宮川 幸治・上野 圭介			○			
		雲監視装置による全雲量算出方法の改良ー彩度、天空の青さ及び大気混濁係数による雲判別ー	高野 松美			○			
		ブリュワー分光光度計用レーザー光軸調整システム	伊藤 真人			○	○		
		広帯域紫外域日射計用分光特性検査装置の開発とその精度	伊藤 真人・下島 淳彦				○		
		ブリュワー分光光度計MKⅢとドブソン分光光度計による直射光オゾン全量観測2002(2001)～2007年	伊藤 真人・宮川 幸治			○			
2011	第69号	(口絵)平成21年(2009年)に高層気象台に整備された高層気象観測用の二つのリモートセンシング機器	能登 美之		○				
		館野における下向き長波長放射の長期変化の特徴と気温や温室効果ガスの寄与について	大河原 望・高野 松美					○	
		南極昭和基地における薄明時の波長別紫外域日射の特徴について	島村 哲也				○		
		南極昭和基地上空の気温の経年変化(1969～2007)	押木 徳明		○				
		The Optical Characteristics of the Fore-Optics and the Calibration for Direct-Sun UV Observation with Brewer Spectrophotometers (ブリュワー分光光度計前置光学系の光学特性と直射波長別紫外域日射観測のための常数校正)	Mahito ITO				○		
		Intercomparison of Brewer Spectrophotometers between the Meteorological Service of Canada and the Japan Meteorological Agency at Toronto, Canada in 2010 (カナダmscにおけるブリュワー分光光度計の2010年における国際測器相互比較)	Mahito ITO・Tom GRAJNAR・Michael BROHART・Vladimir SAVASTIOUK			○	○		
		乗鞍岳におけるブリュワー分光光度計を使用した2009年のオゾン・紫外線の観測	伊藤 真人・高野 松美・小栗 秀之・瀧田 正人・下平 英明・石塚 秀喜			○	○		
		エーロゾルの光学的厚さ観測のPrecision Filter Radiometer (PFR)への移行に伴う試験ー観測データの信頼性の確認及び現行測器との比較観測に必要な測器定数の決定ー	高野松美・大河原望					○	
		PFR(Precision Filter Radiometer)とMS110(フィルター型サンフォトメータ)のエーロゾルの光学的厚さの比較観測	上里 至					○	
2012	第70号	(口絵)平成24年(2012年)3月8日に高層気象台に訪れたGRUAN ICM-4(第4回実施調整会議)サイト ビジットのメンバーと当日の様子	能登 美之		○				
		GRUAN 実施調整会議サイトビジットの開催	能登 美之・小城 良友		○				

発行年	巻 号	題名	著者	地上気象 観測	高層気象 観測	大気オゾン 観測	紫外線 観測	日射・放射 観測	その他
2012	第70号	GRUAN (GCOS Reference Upper Air Network)における高層気象台の役割	能登 美之・吉井 博之・岩渕 真海		○				
		RS2-91 型レーウィンゾンデとRS92-SGP型GPSゾンデの比較観測データを用いた雨天時における雲頂付近及び成層圏の気温観測値の特性調査	古林 絵里子・吉井 博之・阿部 豊雄・金子 祐也		○				
		ドップラーライダー観測データ品質管理手法の開発と性能評価	岩渕 真海		○				
		直達日射観測における雲判別アルゴリズムの評価と1秒値データの利用	押木 徳明・島村 哲也					○	
		分光型全天日射計(MS-710)の温度特性及び入射角特性について	居島 修					○	
		ブリュワー分光光度計(MKII)で観測したO3 観測値およびSO2 観測値の標準ランプ点検結果を考慮した補正プログラムの開発	上里 至			○			
		Total Ozone and UV Solar Radiation with Brewer Spectrophotometers at Norikura Station on the Japanese High Mountain in Recent Three Years (日本の高山(乗鞍)における最近3年間のブリュワー分光光度計を使用したオゾン全量・紫外線量観測結果)	Mahito ITO・Satoru SHIMIZU・Yoshiyuki NOTO・Tetsuya SHIMAMURA・Masato TAKITA・Hideaki SHIMODAIRA・Hideki ISHITSUKA			○	○		
		Global Spectral UV in Recent 6 Years and Test Observation of Diffuse Spectral UV with Brewer Spectrophotometer at Rikubetsu, Central Hokkaido (陸別のブリュワー分光光度計による最近6年間の紫外線量の推移と散乱紫外線量観測の試み)	Mahito ITO・Masaji ONO・Noritsugu TSUDA・Toshinobu MACHIDA・Nobuyuki YOKOZEKI・Yoshiyuki NOTO				○		
2013	第71号	視線方向データを用いたドップラーライダーの風ベクトル算出	星野 俊介・岩渕 真海		○				
		分光型全天日射計(MS-710)の測器常数較正とつくばにおける太陽光スペクトルの試験観測	居島 修・島村 哲也					○	
		筑波山におけるラングレー法を使用したpfr 測器常数の較正試験	島村 哲也・居島 修					○	
		ドブソン分光光度計の光学くさびの透過特性	江崎 雄治・押木 徳明			○			
		ドブソン分光光度計の光学くさびの汚れに対するオゾン全量観測値の補正手法の開発	押木 徳明・江崎 雄治			○			
		波長別紫外域日射観測表示プログラムと参照スペクトルの改訂	能登 美之				○		
		ブリュワー分光光度計で観測した天頂光O3 観測値の再計算プログラムの開発	上里 至			○			
		Seasonal Variations of Global, Reflected, and Diffuse Spectral UV Observations based on Brewer Spectrophotometers at Tsukuba, 2004 to 2012 (つくばにおけるブリュワー分光光度計を使用した波長別全天・散乱・地面反射紫外線量の季節変化2004～2012年)	Mahito ITO・osamu IJIMA・Tetsuya SHIMAMURA・Itaru UESATO・Yoshiyuki NOTO・Yuji ESAKI・Noriaki OSHIKI				○		
2014	第72号	(第70号口絵解説補遺)GRUAN ICM-4でのサイトビジットにおける高層気象台(館野)への訪問者リスト	森 一正		○				
		(口絵)ボールダーにおけるドブソンオゾン分光光度計の国際相互比較	押木 徳明			○			
		オゾンゾンデ観測において10hPa 付近で発生するオゾン分圧値の急上昇について	矢代 和也・萩谷 聡・宮林 直人・岩渕 真海			○			
		2013 年夏の高温期(7 月前半, 8 月中旬)におけるつくばの地上および高層気象観測値の特徴	矢代 和也・金子 祐也	○	○				
		RS-11G 型GPSゾンデを用いた改良型飛揚前点検手法の検討	古林 絵里子・脇野 定則・宮林 直人・矢代 和也・萩谷 聡		○				
		分光型全天日射計(MS-710)を用いた太陽光スペクトルにおける直達成分と散乱成分の試験観測	居島 修					○	
		ボールダーにおける WMO ドブソンオゾン分光光度計の国際相互比較	押木 徳明・江崎 雄治・居島 修			○			
		ドブソン分光光度計の光学くさびの透過特性点検方法の開発	江崎 雄治・押木 徳明			○			
		Absolute Calibration for Brewer Spectrophotometers and Total Ozone/UV Radiation at Norikura on the Northern Japanese Alps(北アルプス乗鞍におけるブリュワー分光光度計の絶対検定とオゾン・紫外線の観測)	Mahito ITO・Itaru UESATO・Yoshiyuki NOTO・Osamu IJIMA・Satoru SHIMIZU・Masato TAKITA・Hideaki SHIMODAIRA・Hideki ISHITSUKA			○	○		

第3部 第2章 高層気象台彙報リスト

発行年	巻 号	題名	著者	地上気象 観測	高層気象 観測	大気オゾン 観測	紫外線 観測	日射・放射 観測	その他
2015	第73号	(口絵)カナダ国トロントにおけるブリューワー分光光度計の国際相互比較 2014	上里 至			○	○		
		測風ライダーの観測モード別精度評価	星野 俊介		○				
		明星RS-11G 型GPS ソンデとVaisala RS92-SGP 型GPS ソンデの相互比較試験観測による特性評価	古林 絵里子		○				
		KC型オゾンゾンデの反応電流及び暗電流の温度依存性	岩渕 真海・金子 祐也・中野 辰美・伊藤 智志			○			
		つくばにおける太陽光スペクトルの直達成分と散乱成分の季節変化	居島 修・松元 誠					○	
		ドブソンオゾン分光光度計オゾン吸収係数の測器間補正の試み	清水 悟・上野 圭介・梶原 良一			○			
		カナダ国トロントにおけるブリューワー分光光度計の国際相互比較2014	上里 至・清水 悟・居島 修・伊藤 真人			○	○		
		Altitudinal Increasing Rate of UV radiation by the Observations with Brewer Spectrophotometers at Norikura, Suzuran and Tsukuba(乗鞍, 鈴蘭, 及びつくばのブリューワー分光光度計観測値から得られた高度による紫外線増加率)	Mahito ITO・Itaru UESATO・Yoshiyuki NOTO・Osamu IJIMA・Masato TAKITA・Hideaki SHIMODAIRA・Hideki ISHITSUKA				○		
2016	第74号	(口絵) 第 12 回 国際日射計比較	居島 修					○	
		明星電気製RS-11G およびIMS-100 ソンデのGRUAN データプロダクト(GDP)の作成	星野 俊介・木津 暢彦・古林 絵里子		○				
		ラジオゾンデの歴史的変遷を考慮した気温トレンド(第2報)	古林 絵里子		○				
		分光型全天日射計(MS-712)を用いた太陽光スペクトルの近赤外域における試験観測	居島 修・高野 松美					○	
2018	第75号	(口絵)ドブソンオゾン分光光度計によるオゾン層観測	上野 圭介			○			
		空気力学的粗度とゼロ面変位高度の推定値を用いた館野の風況調査	甲斐 智博	○	○				
		風車型風向風速計に鳥が止まることによる観測への影響について	柏川 貴裕・阿保 敏広	○					
		IMS-100型とRS-11G型GPSゾンデの比較観測による特性評価	古林 絵里子・星野 俊介		○				
		高層気象台における地上オゾン濃度観測(1988~2016年)	阿保 敏広・駒崎 由紀夫・高野 松美・茂林 良道			○			
		直達日射計を用いた全天日射計の校正方法の比較(遮蔽法とコリメーションチューブ法)	居島 修・島村 哲也・押木 徳明・能登 美之					○	
		分光放射計用校正装置の開発及び分光放射計の校正精度	居島 修・高野 松美・山崎 明宏・石田 春磨・工藤 玲					○	
2019	第76号	(口絵)GRUAN サイト認証	成田 修		○				
		Cryogenic Frost point Hygrometer (CFH)とGPSゾンデの比較観測の実施	古林 絵里子		○				
		オゾン全量観測測器の特性調査	高野 松美・中野 辰美・上野 圭介・藤原 宏章			○			
		メルボルンにおけるWMOドブソンオゾン分光光度計の国際相互比較	清水 悟・上野 圭介			○			
		ドブソン分光光度計の光学くさび透過特性点検の改良と検証	藤原 宏章・中野 辰美・上野 圭介			○			
		分光放射計の校正手法の開発	居島 修・高野 松美					○	
2020	第77号	スペイン・ウエルバにおけるWMOヨーロッパ地区ブリューワー分光光度計相互比較(2019)	藤原 宏章・上里 至・津田 元気・高野 松美			○	○		